

# 市長が提出した議案

## ●職員給与と条例等の一部改正：可決

人事院勧告を踏まえ、給料の引き下げ、12月の期末手当による年間支給額の減額調整及び現給保障額の減額を行うための条例改正。

### 〔討論〕

遠山議員：職員労働組合との合意がなく、議案提出自体が大きな問題。職員の生活給であり、民間労働者の賃金にも波及するのは明らか。地域経済への影響は大きい。断固反対。

平議員：組合という組織が団体的圧力をもってすれば、市民の個がつぶれてしまう。彼らの集団圧力は、彼らの存在理由であるレジテマシー※にかかわる。賛成。

## ※レジテマシー：正当性、合法性。

## ●一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定：可決

専門的知識を有する職員や、公務の能率化を図るための職員を最長5年間に限り採用できるように条例を制定するもの。

### 〔討論〕

加増議員：自治体に必要な



防犯カメラが設置される新取手駅

## ●一般職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償条例の制定：可決

臨時職員に加えて、一般職の非常勤任用制度を導入し、勤務条件の向上と雇用の安定を図り、市民サービスの維持・向上に努めるため、条例を制定するもの。

### 〔討論〕

加増議員：同一労働、同一賃金、均等待遇の原則で正規職員として採用し、仕事に誇りを持つ体制づくりこそ必要。反対。

## ●市立学校体育施設開放条例の一部改正：可決

スポーツ基本法が施行されたことに伴い、法律の名称を引用する条項の整備を行うための条例改正。

### 〔討論〕

貫井議員：学校体育施設の開放は、勤労者・保護者等の余暇の場の提供と健康増進の観点から歓迎。改正を契機に、市民利用の促進と無事故の徹底が大切。賛成。

## ●平成23年度一般会計補正予算（第11号）：原案可決

・補正予算額：2億6970万9000円の増。  
・主な内容：新取手駅前防犯カメラ設置、生活保護費の増、障害者自立支援給付費の増、土地改良事業負担金の増、LED防犯灯リース料の債務負担行為補正。

## ●平成23年度一般会計補正予算（第11号）に対する修正動議：否決

事業の優先順位に問題がある、実証実験を含め慎重を期すべきなどの理由で、補正予算からLED防犯灯リース料（10年間で2億475万円）の債務負担行為補正を削除するもの。

### 〔発議者〕

小泉議員ほか2人

### 〔討論〕

染谷議員：防犯灯のLED化は、一般質問で私が提案していたことであり、歓迎する。経費の削減、耐用年数10年などを加味し、原案に賛成。

平議員：再建の戦略においては、無駄なものを捨てていくことが第一に來なければならぬ。公平、中立、正義の観点から、財政健全化をすべく努力することを要望し、原案に賛成。

遠山議員：一定の区画を実証実験する自治体も多く、どこでも慎重に取り組んでいる。取手市も再検討すべき。放射能問題など、ほかにも積極的にやるべき事業はある。修正案に賛成。



## ●損害賠償の額を定め和解すること：可決

平成2年10月26日、戸頭東保育所で児童がガラス戸に激突し、両上肢に裂傷（後遺障害）を負った事故について、本人と両親に後遺障害及び精神的損害を賠償し、和解するもの。

・損害賠償額：270万3508円。

### 〔討論〕

貫井議員：平成2年発生の子供の戸頭東保育所女子児童負傷事故は21年間、議会に未報告だった。児童の安全・健康・成長を守るのが保育所だ。市内全公共施設での無事故徹底を求め、賛成。

林議員：心からお見舞いを申し上げる。保育所民営化がどんどん進む中、今後何かあったとき、このように責任を持てるのか。市が子どもに責任を持つことが基本。賛成。

## ●平成23年度一般会計補正予算（第9号・第10号）の専決処分の承認：承認

市の放射性物質除染計画の策定準備、東日本大地震被災者雇用創出基金事業など6022万5000円増の補正予算の専決処分について承認を求めたもの。  
市政協力員へ貸し出す簡易放射線測定器及び線量率計の購入経費



公園での除染作業

1058万4000円増の補正予算の専決処分について承認を求めたもの。

### 〔討論〕

阿部議員：市内公園の除染の実証、放射線測定器90台購入は評価できる。今後、さらに市民不安解消に努めることを求め、賛成。

平議員：さまざまな事情で労働ができない人に対して、全市民の総意とは、しっかりと仕事をもち、尊厳を持って生活できる状況であると確信して賛成。

## ●教育委員会委員の選任に関する同意：同意

教育委員として持丸修一氏（63歳）＝取手市神浦を引続き選任するため、議会の同意を求めたもの。

### 〔討論〕

貫井議員：持丸修一氏は、取手二高・常総学院元野球部監督の木内幸男氏とともに取手市が全国に誇る高校野球指導者の一人。スポーツマンシップを通しての人間教育を期待。賛成。